

# 暗唱のすすめ 百人一首編⑫

五十六

あらざらむこの世のほかの思ひ出に  
いま あつ おもいで  
今ひとたびの逢ふこともがな

和泉式部  
いずみしきぶ

五十七

めぐりあひて見しやそれともわかぬ間に  
くも いみ ま  
雲がくれにし夜半の月かな

紫式部  
むらさきしきぶ

五十八

ありまやまいな ささはら かぜふ  
有馬山 猪名の笹原 風吹けば  
ひと わす  
いでそよ人を忘れやはする

大弐三位  
だいにのさんみ

五十九

やすらはず寝なましものを さ夜更けて  
ワ ね よふ  
かたぶくまでの月を見しかな

赤染衛門  
あかぞめえもん

六十

おおえやま の みち とお  
大江山 いく野の道の遠ければ  
あま はしだて  
まだふみもみず 天の橋立

小式部内侍  
こしきぶのないし